

大雨のシーズンを迎える前に、ハザードマップを確認して 水害や土砂災害から命を守る避難行動をとる準備をしましょう！

●「自宅の災害リスク」と「とるべき避難行動」の確認

近年、全国各地で集中豪雨が頻発しています。

昨年も、台風第19号等では、「避難をしなかった」、「避難が遅れた」ことによる被災や、豪雨の中での移動中の被災が数多く発生しました。

本格的な梅雨入りを迎える前までに、台風・豪雨時に供えて、ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」(別添チラシ)を活用し、行政から避難勧告等が発令された場合に、自分はどうのような避難行動をとるべきか、事前に確認しておきましょう。

●命を守るため「ためらわずに避難」

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、外出の自粛をはじめ、「三密を避ける」などの感染防止に御協力をいただいている状況においても、水害や土砂災害の危険性が高い場所にお住まいの方は、命を守るため、ためらわずに避難してください。

「避難」とは「難」を「避」けることであり、避難場所に行くことが全てではありません。安全な親戚、知人宅も避難先として検討することもできます。

なお、皆様に適切な避難行動をとっていただくため、静岡県では「避難行動判定フローの使い方」を作成しています。

また、避難に関する資料をまとめたホームページ(下記)も作成していますので参考にしてください。

「避難の理解力向上キャンペーン」

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/saitai/index.html>